



▲第83号(平成24年10月1日号)

3年ぶりに開催された白河提灯まつりを紹介したこの号は、県市町村広報コンクールで2位に入賞しました。



▲第69号(平成23年8月1日号)

震災の影響で開館が延期されていた市立図書館が7月24日、待望の開館。図書館の魅力を紹介しました。



▲第65号(平成23年4月1日号)

3月11日に発生した東日本大震災の被害の様子や、ボランティア活動の様子などを紹介しました。



▲第94号(平成25年9月1日号)

15年ぶりに復活した「白河関の踊り流し」を紹介。まちなかのにぎわいの様子を届けました。



▲第77号(平成24年4月1日号)

震災から1年が経過し、犠牲者の追悼と復興への願いを込め開催された追悼イベントの様子を紹介しました。



▲臨時版(No 1~6)

ライフラインの情報や被災者支援制度など、震災関連情報をお知らせする臨時版を発行しました。



◎特集 広報白河100号記念 第1弾

100か月の歩み

創刊



第1号(平成17年12月1日号)

平成17年11月7日に白河市、表郷村、大信村、東村が合併して新「白河市」が誕生し、広報白河第1号が発行されました。

広報白河が平成17年12月1日に創刊してから、今月で100号を迎えました。

今月号では、「100か月の歩み」と題し、創刊から現在までの8年3か月を振り返り、広報紙で取り上げた主な出来事をご紹介します。



▲第58号(平成22年9月1日号)

小峰城跡、借宿廃寺跡、野地久保古墳の国史跡指定が決まり、その内容を紹介しました。



▲第38号(平成21年1月1日号)

野地久保古墳(本沼)で、東北で初、全国で5例目となる「上円下方墳」が発見され、その内容を紹介しました。



▲第6号(平成18年5月1日号)

新市の誕生を祝う合併記念式典の様子を紹介。県南の中核都市としてのさらなる飛躍を誓いました。



▲第61号(平成22年12月1日号)

市制施行5周年を記念して策定した「市民歌」が完成し、譜面と歌詞を紹介しました。



▲第45号(平成21年8月1日号)

8月8日に開通した白河中央スマートインターチェンジを取り上げました。※表紙は第46号(平成21年9月1日号)



▲第24号(平成19年11月1日号)

10月1日から開始した、循環バス運行の様子を取り上げました。※表紙は第27号(平成20年2月1日号)

100号



▲第100号(平成26年3月1日号)

これからも必要な情報をお届けするとともに、市民の皆さんに分かりやすい広報紙づくりに努めていきます。

広報白河バックナンバー

広報白河のバックナンバーは、市立図書館で閲覧できます。また、平成22年1月1日号からの広報紙は、市ホームページでも閲覧できます。

読者の声

Interview

毎回楽しみにしています

市外に通勤しているのですが、市内の情報を得るのに広報紙が役立っています。広報紙を通して、地域の人、イベントや行政情報に触れることで、地元に関する意識を高めることができます。

掲載する写真も毎回楽しみに見ているので、今後もいい写真が掲載されることを期待しています。



くろさわ あや
黒澤 文さん(みさか)

生活に必要な情報を確認しています

休日当番医など、生活に必要な情報を確認するのに役立っています。

出掛けたときに、県外の広報紙を見ることがありますが、市の広報紙はほかと比べても見劣りしないと思います。

図書館で新着図書をチェックすることが多いので、広報紙にも新着図書のコーナーがあればうれしいです。



おかもと すずむ
岡本 進さん(郭内)